



琉球大学病院 周産母子センターには 臨床心理士 がいいます

こころの相談
の専門家です



もし、「何か話してみたいな」
「なんだか 辛いな…」
「ちょっと楽になることあるかな」
「こんなこと人に話せないけど聞いてほしい…」
と、臨床心理士との時間に興味を持たれま
したら、お近くの**医師・助産師・看護師な
どスタッフ**にお声かけください。

周産期の患者様：周産母子センターの臨床心理士は、通院・入院されている妊産婦さんや NICU の赤ちゃんのご家族にお声掛けして巡回をしたり、個別の心理相談を行っています。

様々な合併症、赤ちゃんへの不安をお持ちの方、患者様それぞれの背景に寄り添い、心理状態の把握に努め、安定をお助けします。

マタニティブルーや産後うつ等、産後の気持ちの変化についても気にかけております。また、大切な赤ちゃんとのお別れなど辛い出来事の際には、ご家族へのグリーフケアも大切にしております。

不妊治療の患者様：不妊治療を始める時や治療中のお気持ち、治療に関するさまざまな悩み事について、「なかなか人に話せない」と感じることもあると思います。疲れや辛いことが少しでも和らぐように、一人で悩んで抱え込まないように、一緒に考えることができます。

がん・生殖医療の患者様：患者さまは、がんであることを告知されてまもなく、限られた時間で、妊孕性について考えることを求められます。お気持ちや考えを整理し、ご自身で決定できるように支援していきます。

臨床心理士
がん・生殖医療専門心理士
生殖心理カウンセラー 又吉由佳理

